

市指定無形民俗文化財

りょうたに
両谷獅子舞 保存会

(双海町両谷地区)



生き生き人生 わくわく私

約200年前に伝わった「両谷の獅子舞」。
台本も何もなく、先人が記憶をたどり
ながら教えてくれました。



お祭りの季節が近づくと、
双海町両谷地区では、太鼓の
音やにぎやかな声が集会所か
ら聞こえてきます。

市無形民俗文化財に指定さ
れている「両谷の獅子舞」。双
海町に唯一残る獅子舞です。

現在の保存会会長は岡崎正
雄さん。「名ばかりの会長です」
と謙遜しながらも、「両谷の獅
子舞」が江戸時代に本庁地区
から伝わったこと、戦後に途
絶えて昭和60年に復活したこ
となどを教えてくれました。

「公民館の建て替えを機に、
『獅子舞の道具があるけん、や
らんか』と、地区で話し合っ
て再び獅子舞を始めました。

台本も楽譜も何もないの
で、昔の獅子舞を覚えている
人が記憶をたどりながら教え
てくれました。」

その時教わった側が、今は
教える側になり、当時サル役
をしていた人は、今、自分の
子どもと一緒に獅子舞の練習
に参加しています。

子役として参加できるのは
3歳〜小学4年生。サル・キ



▲手作りの練習用獅子。汗対策。

ツネ・狩人へと、成長と共に
演じる役を替えていきます。

大人はおじいさん・獅子・
太鼓を演じ、今は26年同じ人
が演じ続けた獅子の、後継者
育成に力を入れています。

今の課題は人員確保。子役
は他の地区からも参加して
らっています。

時に子どもが泣き出すほど
怖い顔をした獅子。子どもた
ちに獅子を怖くないのか尋ね
ると、「獅子は怖くない、かつ
こいい。大人になったら獅子
や太鼓もしてみたい。」という
答えが返ってきました。獅子
舞の楽しさは、演じる人たち
の笑顔が物語っています。